

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程
取り組む課題	生徒の自立支援
評価指標	<ul style="list-style-type: none">・ 生徒の自己有用感、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、職業観等の向上（学校教育自己診断）・ ボランティア活動に対する意識の向上・ 中途退学率の減少、不登校生徒の減少、進級卒業率の向上
計画名	地域連携による復興支援プロジェクト

2. 事業目標及び本年度の取り組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>2 生徒理解の促進と自己有用感を高める取り組みの強化 (2) 特別活動、生徒会活動、部活動等を通じて、生徒の自己有用感を醸成するとともに集団や学校への帰属意識を高める。</p> <p>ア 生徒会行事、生徒の自主活動、ボランティア活動や地域連携活動の継続、発展をめざす。</p> <p>※ 地域・企業等と連携した「ゆめ・チャレ」等の就労体験活動のさらなる発展充実、参画企業と動員生徒を毎年5%拡張</p>
事業目標	<p>本校生徒に自信を持たせ、コミュニケーション能力を身につけさせる。また、基本的な生活習慣を身につけさせ、進級・卒業率を上げることや、中途退学率を減らす必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 伝統地場産業を学び、「ものづくり」を通じて地域に誇りを持ち、自分にも誇りを持つ。・ 地場産業を通して学校外で様々な職業体験をし、基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーション能力等をつける。・ ボランティア活動に積極的に参加し、他者から感謝されることにより自己有用感を持つ。・ 被災地支援により得た知識を活かし、地域の防災活動の拠点となり、自助・共助・公助の精神を養う。
整備した 設備・物品	<ul style="list-style-type: none">・ 復興支援用材料費（打ち刃物）・ 復興支援記録用ビデオカメラ・ バイオディーゼル発電機一式・ ドローン一式
取り組みの 主担・実施者	<p>プロジェクトリーダー：首席（進路指導主事兼任・学校設定教科「堺学」主担） 復興プロジェクト企画・運営：学校設定教科「堺学」担当教員 地域（自治会・小中学校等）との連携推進：進路指導部 生徒に対する諸活動：生徒会活動部 廃油発電機・電気自動車作成・改良及びドローン担当：機械系・電気系職員</p>
本年度の 取組内容	<p>「取り組みの充実と発展」のために、「東北支援プロジェクト」から「復興支援プロジェクト」として支援の輪を広げ活動をおこなった。被災地との情報交換を密にし、一人でも多くの生徒をプロジェクトに参加させて寄贈する「線香」と「包丁」の数を増やした。また、被災地の各震災伝承館の来場者に配布する「線香」や「蜻蛉玉」などの支援品も製作</p>

	<p>して、被災地を訪問して直接手渡しをおこなった。また、活動をビデオカメラで記録し、講演活動もおこなった。</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学校へ行くのが楽しい」「この学校には他の学校にない特色がある」「地場産業について学び、体験する機会が多い」（学校教育診断）肯定的回答 70%以上 2 退学率を9%台に収める（R1 8.3%）、1年生の進級率（70%以上：R1 70%）、学校全体の進級卒業率（80%以上：R1 82%） 3 復興支援プロジェクトへの参加生徒 50%
<p>自己評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学校へ行くのが楽しい」（学校教育診断）……………（R2年度 63%） 「この学校には他の学校にない特色がある」……………（R2年度 56%）平均61%（△） 「地場産業について学び、体験する機会が多い」……………（R2年度 64%） 2 退学率9%台に収める……………（R2年度 9%）……………（○） 1年生の進級率（70%以上）……………（R2年度 70%）……………（○） 学校全体の進級卒業率（80%以上）……………（R2年度 85%）……………（◎） 3 復興支援プロジェクトへの参加生徒（50%以上）……………（R2年度 60%）……………（○） <p>※ もっと増やせるのではないかと見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響で参加率が上がらなかった。</p>
<p>事業のまとめ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の関係で、9月になってようやく「復興支援プロジェクト」を実施することができた。自然災害が多発している中、各イベント等が中止になり、校外に出る機会がないため、生徒会を中心に学内で「募金活動」を行っている。</p> <p>「文部科学省」の災害ボランティア事業に本校が採択され、11月16日から4日間東北の被災地を訪問し、自然災害について学習した（本来は7月に訪問する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で11月になった）。その際、被災地を椿の花でいっぱいにする「レッドカーペット・プロジェクト」に参加し、支援活動をおこなった。生徒が製作した「包丁」や「線香」、及び地場産業の「支援品」の寄贈も行った。この事業をとおして、本校生徒は「ボランティア」に対する意識と「自己有用感」が高められた。</p> <p>「東日本大震災」から10年、様々な支援活動をすることができた。今後も支援活動を続け、風化させないように、この活動を全国発信していきたい。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	152,590	円
----------	---------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1				
	2				
	3				
				小計	0
2 旅費	1	被災地訪問	¥29,350	1	¥29,350
	2	被災地訪問	¥61,620	2	¥123,240
	3				
				小計	¥152,590
3 消耗需用費	1				
	2				
	3				
				小計	0
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
				小計	0
5 役務費	1				
	2				
	3				
				小計	0
6 委託料	1				
	2				
	3				
				小計	0
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
				小計	0
8 備品購入費	1				
	2				
	3				
				小計	0
9 工事請負費	1				
	2				
	3				
				小計	0
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
				小計	0
				合計	¥152,590

積算内訳